

特別史跡加曾利貝塚新博物館 展示ケース共通要求水準

項目	種別	要求水準
気密性能	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展示室の壁面ケースはエアタイト型とする。 ・企画展示室は独立ケースについてもエアタイト型を基本とするが、2割程度（資料の保存上問題のないものの展示）はノンエアタイト型も併用する。 ・常設展示室は、ノンエアタイト型を基本とする。 ・エアタイトケースの空気交換率は0.5回/1日程度とする。 ・ケース内部からの有害物質の放散を抑えるとともにケース外部からの有害物質の侵入がない構造とすること。 ・展示ケース内の空気清浄度は、ホルムアルデヒド80ppb以下（0.08ppm）、有機酸（酢酸）170ppb以下、アンモニア30ppb以下とする。（東京文化財研究所『美術館博物館のための空気清浄化の手引き』平成31年3月 記載の「望ましい値」を満たすこと）
温湿度性能	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に収蔵庫の環境に準ずるものとする。 ・ケース内温湿度は外気や展示室の環境による急激な変化がなく、資料保存の観点から適切な温湿度となること。 ・カセットタイプの調湿剤が設置可能なこと。 ・無線式温湿度データロガーによる常時モニタリングを可能とすること。
	企画展示室	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁「国宝・重要文化財に関する取扱要項」に則した取り扱いが可能であること。
ガラス	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・展示資料の良好な観覧環境に配慮した素材とすること。 ・資料の観覧に支障が無いよう、フィルムなど反射低減の措置をとること。 ・飛散防止措置を講ずること。
	壁面ケース	<ul style="list-style-type: none"> ・厚さはt=12mmを基本とする。
	独立ケース	<ul style="list-style-type: none"> ・厚さはt=10mmを基本とする。ガラス面の寸法や展示ケースの設置場所に応じて、安全性が確保できる場合はガラス厚を変更することができる。
仕上げ外装	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・展示ケースの意匠は揃えること。 ・展示室内の意匠と統一感のあるものとする。
仕上げ内装	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・展示ケース内の空気汚染の原因となる有害物質放散が少ない素材を使用すること ・耐荷重70kg以上のピクチャレールを設けること

項目	種別	要求水準
照明	壁面ケース共通	<ul style="list-style-type: none"> ・上部ライン照明の調光は0%～100%の範囲でシームレスな調光が可能であること。 ・上部ライン照明の調色は2,700K以下～5,000K以上の範囲で無段階の調色が可能であること。 ・上部ライン照明はケース外部から安全に照明作業がおこなえる構造とすること。 ・スポットライト用のライティングレールを配置する。照明の前面に熱切ガラスを設けること。 ・スポットライトは、スポットライト本体から個別調光を行なえるものとする。 ・床面の照度200 lx以上を確保できる性能とする。また照度150lx以下での安定した照度環境を実現し、展示面において均斉度を中心部より有効展示範囲（監督職員と協議の上決定）で0.7以上を確保すること。 ・文化庁 「国宝・重要文化財に関する取扱要項」に則した取り扱いが可能であること。 ・照明演色性は平均演色評価数Ra95以上を確保すること。
	独立ケース共通	<ul style="list-style-type: none"> ・調光・調色可能なLEDライトを備えること。 ・調光は0%～100%の範囲で各列独立してシームレスな調光が可能であること。 ・調光は2,700K以下～5,000K以上の範囲で各列独立して無段階の調色が可能であること。 ・文化庁 「国宝・重要文化財に関する取扱要項」に則した取り扱いが可能であること。 ・照明演色性は平均演色評価数Ra95以上を確保すること。
扉・開閉機構	壁面ケース共通	<ul style="list-style-type: none"> ・フラット扉方式とする。 ・フロントガラスの一部が開閉するなど、展示作業を行う担当者が安全かつストレスなく作業できるよう配慮した構造とすること。
	独立ケース共通	<ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも1面が全面開閉することを基本とする。 ・資料の鑑賞を妨げず、かつ展示作業を行う担当者が安全かつストレスなく作業できるよう配慮した構造とすること。
免震性能	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース内の必要な個所に置き式の免震台を設置するものとする。
一般事項	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する主要部品、部材は日本工業規格（JIS）又は国際標準化機構（ISO）に準拠すること。 ・展示ケース一式はJIS 表示認定、ISO9001 又はISO14001 認定、又は同等の規格認定を受けた工場又は会社で管理して製作、設置を行うこと。
実績	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・過去5年間に重要文化財を有する博物館・美術館施設へ同等品エアタイト展示ケースの納品実績を有すること。
保守	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・修理対応拠点は日本国内にあり、不具合が生じた場合は速やかに対応すること。
提出書類	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・納入業者の実績を証明する書類 ・展示ケース内空気環境調査結果 ・温湿度測定結果